

平成30年度第1回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成30年8月28日（火）14時00分から 15時50分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第2会議室
- 3 出席委員 10名
山崎会長、徳永委員、白川委員、知念委員、立石委員、藤井委員、
渋谷委員、佐田委員、井手委員、小田口委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議の概要

(2) 議題等

- ア 平成30及び31年度の保険料について
- イ 第2期データヘルス計画の見直しについて

(3) 委員からの主な意見

- ア 平成30及び31年度の保険料について
 - ① 保険料について、滞納者の差し押さえの状況や対処方法はどうされているのか。
 - ② 介護保険料が高いのではないか。
 - ③ 介護医療院の新設による医療費の影響見込みは、今回の保険料に反映されているか。
- イ 第2期データヘルス計画の見直しについて
 - ① 長崎県の75歳以上の死因について、心不全の数が多いことで再掲して記載するのは適切な表現ではない。
 - ② 長崎県では、健康寿命の延伸が取り組みの目玉となっている。
 - ③ 健康課題の表現においては、文章のみではなく、引用元になる図表を示さないと分かりづらい。
 - ④ 高齢者で問題になるのは、転倒骨折によりADLが下がって入院費がかかり、寝たきりになることが一番大きい。
 - ⑤ 糖尿病性腎症重症化予防事業では、事業を受けていない人がどのくらい人工透析に移行したのかを比較すると、評価の効果が出るのではないかと思う。
 - ⑥ 口腔ケア事業を今後進めていくうえでは、事業受診者とそうでない方で年間医療費データを比較できれば、いい方向の指標になる。
 - ⑦ ジェネリック医薬品に変更することで薬剤費は下がるが、調剤を含めた医療費全体での削減効果が出ているのかを検討していただきたい。